

鉢形だより



編集：鉢形地区まちづくり委員会 情報部会
 発行：鉢形地区まちづくり委員会
 責任者：委員長 椎名 茂樹
 情報部会部長 島林 総蔵
 住所：鹿嶋市鉢形台3-15-1
 TEL：90-3430
 FAX：90-3431

令和6年3月1日(金)発行 第71号

～伝統と未来をつむぐ～

第24回 鉢形まつり 作品を展示

@鹿嶋ショッピングセンターチェリオ



- 写真**
小田 一郎「灼熱の火柱」
平野 佑香「きいろ」
- デジタルアート**
*** (希望により非公表)
- 絵画**
鹿嶋市立平井中学校美術部
- 手芸**
わいわい楽習塾 「プリザーブドフラワー」
絵手紙 タンポポ 「墨の香りに癒されて」
着付けクラブ 「着物の着付け」
ふしぎな花倶楽部 「棚田」「のどかな風景」
ポピンズ 「クラフトバッグ」
仲良しクラブ 「吊るし飾り等手芸作品」

令和5年11月18日(土)地域の創作活動の充実化及び芸術文化の振興と向上を図ることを目的に「第24回 鉢形まつり作品展」を鉢形公民館にて開催し、今年度は、展示作品への来場者による投票を行いました。総票数328票の中から、多くの投票を集めた作品を、令和6年1月24日(水)～1月30日(火)の期間、鹿嶋ショッピングセンターチェリオにて展示させていただきました。

多くの方に鉢形地区の皆さんの素敵な作品を見ていただける機会となりました。

第1回 新春鉢形かるた大会を開催



令和6年1月27日(土)鉢形公民館にて、3年越しとなる鉢形かるた完成記念「第1回新春鉢形かるた大会」に60名が参加し、開催されました。

多くの来賓の方をお迎えし、開会式は、主催者である塩沼 寛己実行委員長(鉢形小学校PTA会長)の挨拶で始まりました。

低学年の部、高学年の部、一般の部、シニアの部4部門①～④のグループに分かれて予選、チャレンジ戦、準決勝(低学年とシニアの部のみ)、決勝の順でかるた取りを行いました。参加者は対戦相手と向かい合い、読み手が句を読み上げると、素早く腕を伸ばし札を取りあっていました。準決勝までは30枚を取り合い、決勝では45枚すべてを使って対戦が行われました。

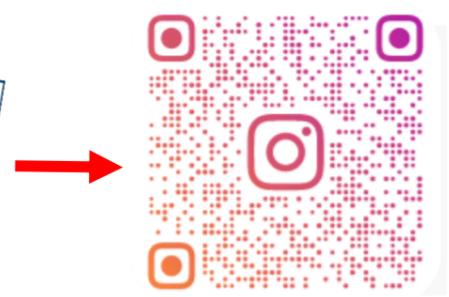
大会終了後はみんなで、はちっこサポーターによるどんど焼き体験と豚汁を食べて体を温めました。

小学校高学年児童は、「自分で見たり、聞いたことのある場所がたくさん出てきて楽しかったです。」一般の部で参加された方は、「大人になってかるたに触れる機会があまりなかったし、自分の住んでいる地区のかるたなので親しみを持って楽しく挑むことが出来ました。」と話していました。

最後に、「鉢形かるた製作委員会」小古井 芳一会長(鉢形地域を考える会会長)は、「この日を迎えて本当に良かったです。私も、かるた大会に参加しましたが、とても緊張しました。かるたの札をとる子どもたちはとても早くて驚きました。鉢形かるたを通して地域の歴史や文化を後世にも語り継いでもらえたら嬉しいです。」と話していました。

— 各部門優勝者 —

- 低学年の部 大杉 環奈 さん
- 高学年の部 木下 晶太 さん
- 一般の部 浅沼 永寿 さん
- シニアの部 平山 英夫 さん



鹿嶋市地区対抗球技(ボッチャ)大会に4チームが出場!

大健闘の戦い、本当にお疲れさまでした!

ふる里会A 榎本 几久・大塚 芳春・藤沢 正己・榎本 笑子
 ふる里会B 前川 文雄・松田 譲二・後藤 とし子・武藤 みつ子
 衛星会 小田 一郎・植田 敏夫・山本 安生・谷藤 正則・高梨 光貞
 高砂会 青野 廣・橘原 昭男・平山 英夫



▲鹿嶋市球技大会に出場された4チームのみなさん

令和6年1月20日(土)カシマスポーツセンターにて、市民スポーツの振興を図り、地域交流の機会を目的に、市内の各地区から4チームずつ出場する「鹿嶋市地区対抗球技大会 種目:ボッチャ(主催鹿嶋市NPO法人鹿嶋市スポーツ協会)」が開催されました。競技コートは、第1コートから第10コートまであり、参加チームは全部で40チームにもなる大会でした。

鉢形地区の代表として大会出場をかけた予選会(主催 鉢形地区まちづくり委員会)が、令和5年12月16日(土)鉢形小学校体育館にて行われ、参加者45人15チーム中、鉢形区から「高砂会」、鉢形北区から「ふる里会A」・「ふる里会B」、平井丘区から「衛星会」の4チームが出場を決めました。

各チーム、とても白熱した戦いとなり、最後まで勝負が読めない展開が続きました。総合優勝には届きませんでしたでしたが、各コート部門で、「衛星会」チームが見事優勝を納めました。おめでとうございます!



第10回 鉢形地区親善スポーツ大会



▲始球式で投球する小野寺さん

令和6年1月28日(日)鹿島ボウルにて毎年大盛況の「鉢形地区親善スポーツ大会」に26名が参加し、開催されました。

参加者は、一投一投に一喜一憂しながらも楽しい時間を過ごし、「もっとやりたい」という子どもたちの声もありました。

優勝は2ゲームトータルスコア429(ハンデなし)で、鉢形地区在住の尾崎 雅人さんでした。おめでとうございます!

来年も、鉢形地区のみなさんのご参加をお待ちしています!



▲入賞者のみなさん

わいわい楽習塾 COFFEE セミナー



▲実演を交えた座学の様子

令和6年2月8日(木)K3Cafe店主 安宅 確英(やすみ かくえい)氏を講師に迎え、鉢形公民館にて、「わいわい楽習塾 コーヒーセミナー」に24名が参加し、開催されました。

今回は、「焙煎の度合い」をテーマに、座学と講師の実演にて、コーヒー豆の焙煎方法や焙煎度合いの特徴を学びました。8段階ある焙煎度合いのうち、「ミディアム・シティ・フルシティ」の三種の飲み比べをし、入れ方についても学びました。



▲実際に入れ方をレクチャー中

地域密着 鉢形人にインタビュー ~あなたの出番です~

~草花が持つ自然の美しさで癒しを~



▲村里 ちよ子さん

押し花との出会いは?

神栖市の押し花の教室に通っていた友人の紹介で、その先生が鹿嶋で開いた教室に通うことになったのがきっかけでした。押し花を始めてからは、25年になります。その間に、周囲から押し花を教える機会が増えてほしいとお願いをされたことから自宅で教室も始めました。

主な活動は?

月に1回自宅で押し花教室を開いています。その他には、市内2、3か所の公民館から依頼され、その年の干支を作る「押し花教室」の講師を務めたり、押し花の資格を同じ時期に取った仲間たちと、勉強会や展示会を開いたりしながら活動をしています。

押し花の魅力とは!

押し花の魅力は、身近に咲いている草花で、小物から額縁まで幅広く、奥深い作品を作ることが出来ることです。そして、花の採取から始まり、「押す・作る・作品を見る」この一連の流れが押し花の醍醐味だと思います。過去に娘から、結婚した時に使ったブーケを押し花にしてほしいと言われ、押し花にしました。仕上がりを見てとても喜んでくれました。その時の思い出の花を押し花にすることで、きれいに保管することができる場所も魅力ですね。

初心者でも出来る花選び

ヤコツはありますか?

パンジー、ビオラ、コスモスやアジサイなどは水分が少

なくて花卉が薄く、重なりが少ない花なので、簡単に手に入り初心者でも扱いやすいです。押し終えた花を密封できる容器の中に乾燥剤を入れて、湿気と紫外線管理さえすれば長く保管しておくこともできます。

押し花を通じて伝えたい事とは?

花々が持つ自然の美しさが心を癒してくれます。身近な花で作品づくりを楽しんでいただきたいです。年齢を重ねても無理なく出来るので、生涯学習としても学ぶことができます。押し花に限らず趣味を持つことは気分転換にもなります。ぜひみなさんも、趣味を見つけていただき味わいのある生活を続けられるといいですね...



▲鉢形公民館で講師を務めた押し花教室

PROFILE

むらさと
 ■村里 ちよ子

所属:ふしぎな花倶楽部

野ばらの会

住所:平井丘区

好きな花:バラ